



鬼火たき開催

2月3日（金）に、今年の無病息災を願い、田代地区の各地で鬼火たきが開催されました。

鬼火たきは、100年ほど前から行われている伝統行事で、竹で組んだやぐらに火をつけ、竹がはじける音で鬼を追い払うための行事です。

当日、麓地区の鬼火たきでは、中学2年生の生徒たちが点火役を努め、火をつけるとやぐらは勢いよく燃え上がり、竹がはじける音が周囲に鳴り響きました。火勢が衰えると、子供達はもちを焼いたり、母親らが準備したぜんざいを食べ、また、大人達は焼酎を酌み交わしながら夜遅くまで盛り上がりました。

県下一周駅伝大会

第53回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月18日から22日までの5日間にかけて開催されました。

錦江町からは、肝属チームの選手として石塚正太さん（半下石自治会出身）が参加しました。

石塚選手は大会5日目、地元の応援を受けながら皆倉から高須までの区間を力走し、順位を上げるなど、肝属チームの総合4位、そして、4年ぶりのAクラス復帰に大きく貢献されました。



健康づくり講習会

2月22日、田代保健福祉センターにおいて、健康づくり講習会が開催されました。講習会は、田代ときわ木学園OB会と田代真向法同好会が共同で開催したもので、鹿児島足道会会長で真向法（健康体操）7段の若松與曾吉先生を迎えて行われました。

若松先生は、満81歳になりますが、各地で開催されるマラソンに出場し、指宿菜の花マラソン（フルマラソン）には今年で連続25回出場し、すべて完走しているほか、地域でのボランティア活動にも積極的に参加されている方です。

講習は、ストレッチ運動から始まり、真向法の健康体操の実演指導があり、参加者は熱心に受講していました。

田代ときわ木学園OB会の久保幸雄会長（鶴園自治会）は「若松先生のような元気な高齢者が町内に増え、医療費の抑制や町の活性化につながってほしい」と話されました。

